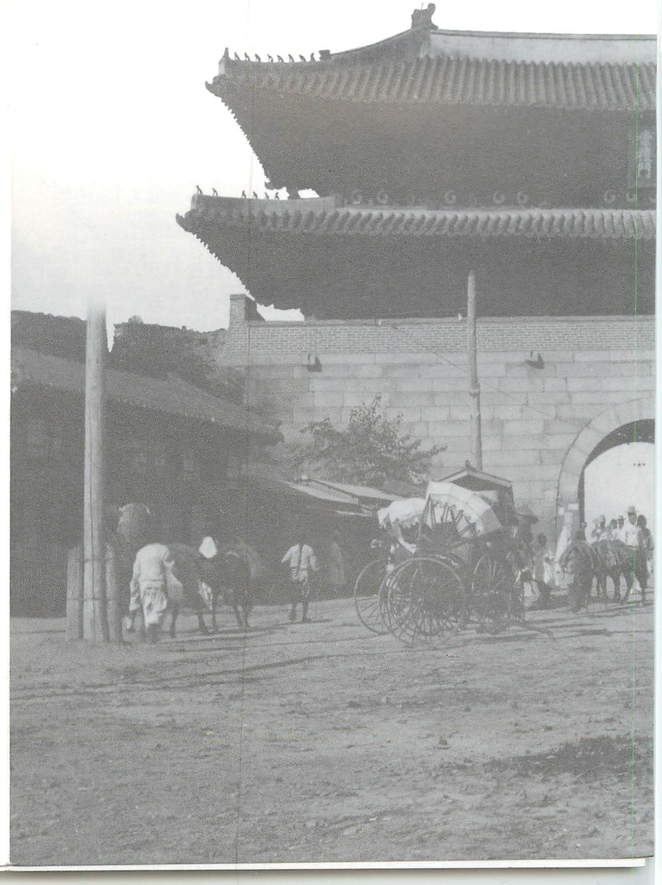
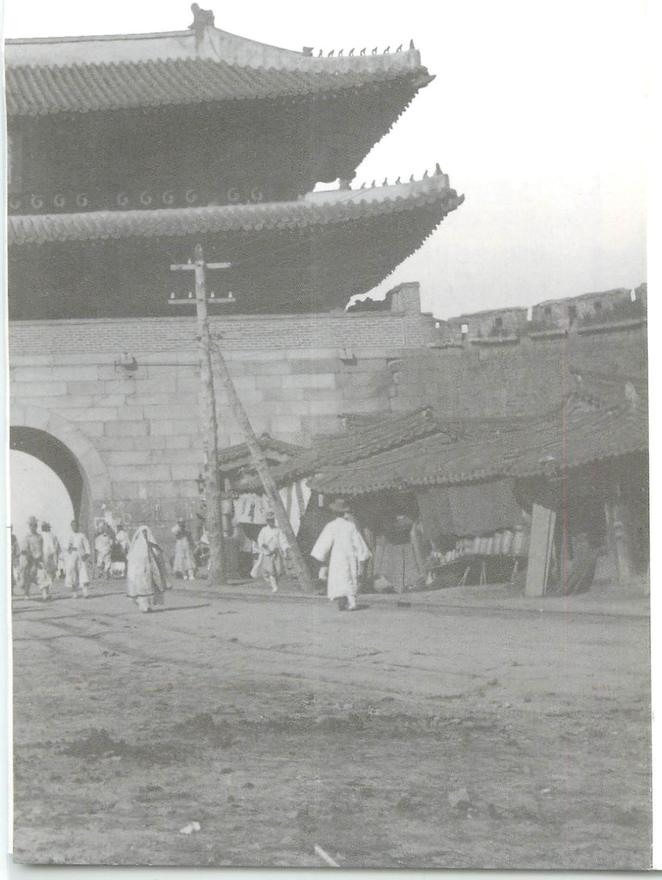
崇礼門

崇礼門

1394年(太祖3)、朝鮮建国の3年目に漢陽が新しい都として定められ、新しく都城が築城された。都城建設計画に従って、まず宗廟と社稷を、続いて景福宮を建設した後、首都全体を防御する目的で、周辺の四つの山に城郭を築いた。城郭には東西南北にそれぞれ4つの大門と4つの小門を設け、都城の出入の利便性を図った。正門である南大門は「崇礼門」と名付けられた。

崇礼門は開城の南大門、平壌の普通門とともに韓国の城門を代表する建築物で、現在残っている城門の中で最大で、かつ最古のものである。1396年(太祖5)に始まり1398年(太祖7)に 完成したが、1448年(世宗30)、1479年(成宗10)、1868年(高宗5)など数回にわたって補修作業が行われ、保存状態が良好であったため、1962年12月20日には国宝第1号に指定された。2008年2月10日の放火により、門楼の2階が消失するなど大きな損害を受けたが、2年間の精密な被害調査、3年間の復旧工事の計5年にわたる作業の末、原型に近く復元された。





崇礼門の観覧情報

観覧時間	春・秋(3～5月/9～11月)	午前9時～午後6時
	夏　期(6～8月)	午前9時～午後6時30分
	冬　期(12～2月)	午前9時～午後5時30分
定休日	毎週月曜日	
入場料	無料	
観覧区域	崇礼門広場内自由観覧	

観覧マナー

文化財を大切にし、観覧マナーを守りましょう。
境内と周辺はすべて禁煙となっております。
発火物質や燃えやすい物を持ち込んではなりません。
ペット同伴、スポーツ・遊び・休憩に使われる物の持ち込みは禁じられております。

交通アクセス

バス 崇礼門で下車

広域(赤)　M4101、M4102、1005-1、1150、5000、5005、5007
5500、5500-1、5500-2、7900、8100、9000、9001
9003、9007、9300、9301、9401

幹線(青)　N15、N16、N30、103、104、105、163、201、202
261、262、401、405、406、604、701、704、706

支線(緑)　7011、7017、7021、7022

詳しいバス路線はソウル市ホームページをご参照ください。
(http://bus.go.kr)

地下鉄

1号線 ソウル駅 4番出口
4号線 会賢駅 5番出口

駐車

専用の駐車場はございませんので公共の交通機関をご利用ください。

崇礼門管理所　**住　所**　100-094 ソウル特別市中区世宗大路40
電話番号　02-779-8547～8

문화재청
Cultural Heritage Administration